

## 関東団地少年野球大会規則

関東団地少年野球連盟

東京支部長 鈴木 康正

東京支部審判部長 油谷 信一

1. **集合時間** 試合当日、当該チームは試合開始予定時刻の45分前に到着しなければならない。
2. **ベンチ** ベンチサイドは、抽選番号の若い方を一塁側とする。先攻、後攻はジャンケンとする。
3. **試合時間**
  - a. 試合時間は、90分6回戦とする。
  - b. 延長 同点で時間切れまたは6回終了時点で同点の場合は、タイブレーク（但し、2回まで）、1死満塁とし継続打順とする。この場合、タイブレークになる直前に出場していた選手のみで行い、選手交代は認めない。但し、怪我等のやむを得ない場合または守備位置の交代はこの限りではない。また、2回までに決まらない場合は、抽選とする。
4. **試合の成立** 以下の場合、コールドゲームが成立し、試合は終了する。
  - a. 本大会・ジュニア・・・ **4回以降7点差。**
  - b. 降雨、強風等の悪天候や日没、その他試合続行が困難な場合で4回の裏が終了したとき。  
(当該4審判員にて決定する。)
5. **使用ボール、バット、ホームベース**
  - a. 学童J号球（読売大会中学生の部はM号球）とする。**準々決勝までは、対戦チーム同士でボールメーカーを揃えることとするが、準決勝、決勝戦では内外ボールを支部から支給する。**
  - b. 使用バットは、JSBB軟式用とする。
  - c. **使用ホームベースは、一般用のホームベースとする。**
6. **投球制限** 投手の投球制限は、1試合4イニング（12アウト）までとする。
7. **試合中のタイム**
  - a. 投手及び選手交代以外のチームのタイムは4回までとする（攻撃2回、守備2回）。
  - b. タイム時、監督およびコーチはフェアラインを越えてダイヤモンド内に入ることができる。
8. **選手のバッティンググローブ、リストバンド、サングラスの使用**  
**バッティンググローブ、リストバンドの使用は認める。また、野手のサングラス使用（除くミラーレンズ）及び帽子の底の上に載せることは認める。**
9. **ベンチ内の監督及びコーチの人数**  
監督は必ずチームのユニホームを着用すること。ユニホームを着用しない監督はベンチに入れない。  
ベンチ内は、監督、コーチ、スコアラーの5人以内、選手は20人以内とする。
10. **審判員の服装**  
審判員は、襟付きの服を着用すること。（トレーニングウェア、ジャージ等は不可）。  
四人制審判のため、原則1チーム2名とする。
11. **試合マナー**
  - a. 選手はマナー正しく、みだりに勝手な行動をとらないこと。攻守交替は全力疾走のこと。
  - b. 投球練習は、初回7球、2回目以降4球とする。但し、天候等により変更することがある。
  - c. 打者、走者及びランナーコーチはヘルメットを着用し、捕手はマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、**ファールカップ**着用を義務付ける。
  - d. 試合中における審判へのアピールは監督または当該選手とする。
  - e. チームの応援については、節度とマナーを守ること。相手チーム選手等への野次は禁止する。  
(指導者、応援の父兄も含み、相手への野次が重なる場合は退場もありえる。)
12. **その他**  
準々決勝以降の試合について、日程が他の大会と重複した場合は、チームとして棄権するか選択する。  
※読売大会中学生の部については、試合時間は100分（1時間40分）7回戦とする。それ以外のルールは、上記本大会のルールと同様とする。